

『南房総市次世代育成支援後期行動計画』の個別施策の進捗状況(平成23年度)

番号	個別施策	取組内容	23年度実績	進捗状況	課題等	今後の方向性	関係課
1	広報紙等の充実	広報・ホームページ・子育て応援ガイドブックなどの媒体を通じて、子育て情報の周知に努めます。また、子育て支援センターの情報コーナーを充実していきます。	<p>③【広報紙に掲載】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども手当(5・10・2月号) ・児童扶養手当の受給資格拡大(5月) ・家庭児童相談員、母子自立支援員の紹介(5月号) ・児童扶養手当(7・8月号) ・ひとり親家庭等医療費等助成事業(8月号) ・子ども医療費助成受給券(8月号) ・幼稚園、保育所再編計画案への意見募集(8月号) ・里親制度(2月号) <p>【広報お知らせ版に掲載】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健康診査(4月・10月以外毎月) ・子育て支援センターほのぼのから(毎月) ・予防接種(5月・7月・9月・11月・1月・3月号) ・子育てパワーアップ講座(10月号) ・保育所、学童保育所の入所申込受付(1月号) <p>【ホームページで公開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県企業参画型子育て支援事業 ・次世代育成支援行動計画進捗状況 ・保育士募集 ・南房総市幼稚園、保育所等再編計画 ・次世代育成支援地域行動計画 ・次世代育成支援後期行動計画 ・子ども医療費助成事業 ・児童扶養手当 ・子ども手当 ・南房総市ぜんそく等小児指定疾患医療費助成事業 ・ブックスタート事業 ・子育て支援センターほのぼのの紹介 ・保育所の紹介 ・病児、病後児保育事業 ・ひとり親家庭サポート <p>⑩子育て支援センターの事業については、毎月、広報お知らせ版に掲載し、乳幼児健診等の利用者にはほのぼののたよりを配布している。本市の子育て情報をまとめた子育てハンドブックは、出生届や転入届時に配布している。また、子育て支援センター内では公民館事業など他機関の子育て情報も提供している。</p>	○ほぼ計画どおり進捗	⑩市民が利用したいと思えるような掲載内容を考えていく必要がある。	成果維持	③情報推進課 ⑩子育て支援課

番号	個別施策	取組内容	23年度実績	進捗状況	課題等	今後の方向性	関係課
2	相談コーディネーター機能の強化	子育て支援課を、子育てに関わる相談コーディネーターの拠点と位置づけ、市の関係課や市内外の関係機関等と連携しながら、ニーズの発掘・受け止めから、適切な解決策の検討・回答、サービス提供機関へのつなぎに至るまでの取り組みをトータルに行っていきます。各部門において、個人情報保護に最大限に留意しながら、情報の引き継ぎを的確に行い、迅速な対応につなげます。	⑩保育や教育に関する相談、福祉サービス利用に関する相談等の受付と関係課・関係機関との連携。	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑭教育総務課 ⑯社会福祉課 ⑰健康支援課 ⑱子育て支援課
3	療育・発達相談体制の充実	療育・発達相談は、親の不安を少しでもなくし、適切な訓練・指導に結びつくような相談の実施に努めます。子育て支援センターを相談窓口と位置づけ、関係機関と連携しながら、相談体制を強化していきます。	⑯発育発達支援事業 年3回 子育て支援課と連携し、相談支援の実施。 ⑳子育て支援センターでは身近な相談相手として従事しており、必要に応じて発達支援を目的とした「きらりんくらぶ」や、臨床心理士による「幼児相談」、言葉の先生による「ことばの相談」につなげている。	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑭教育総務課 ⑯社会福祉課 ⑱子育て支援課
4	いじめ・不登校などの相談体制の充実	各保育所・幼稚園・小中学校など子どもが通園・通学するあらゆる機関や地域団体、家庭児童相談員等が日常からの連絡を深め、いじめや不登校などに対する相談に適切に対応するよう努めます。	⑭スクールカウンセラーを各中学校に配置し、教育相談を実施 園・小中学校と教育総務課及び子育て支援課との連携 ⑳児童福祉相談の窓口であることを広報、学校訪問等で周知するとともに、緊急時迅速且つ適切な対応ができるよう関係機関との連携を深めている。	◎計画を超えて進捗	⑳児童虐待を発見した際、ためらわずに通告できるよう関係機関に早期発見早期対応の必要性について周知するとともに、児童虐待の予防についても、保育所、幼稚園、学校等へ更に周知していく必要がある。	成果維持	⑭教育総務課 ⑱子育て支援課
5	児童虐待の相談体制の強化	要保護児童対策地域協議会の構成機関(君津児童相談所、警察、主任児童委員、家庭児童相談員等)などと連携しながら、児童虐待に関する相談への迅速・的確な対応に努めます。	⑳児童虐待の予防、早期発見早期対応できるよう要保護児童対策地域協議会運営要綱に基づき、関係機関と連携し、運営している。児童虐待として受理したケースについては、実務者会議を定例で開催し適切な対応ができていくか協議し、更に関係機関と連携を必要とするケースについては、個別ケース検討会議を開催している。また、児童虐待予防推進を目的に構成機関代表を対象にした代表者会議、11月の予防推進月間の際は、シンボルマークのオレンジリボンを関係機関に配布している。	○ほぼ計画どおり進捗	⑳児童虐待を発見した際、ためらわずに通告できるよう関係機関に早期発見早期対応の必要性について周知するとともに、児童虐待の予防についても、保育所、幼稚園、学校等へ更に周知していく必要がある。	成果維持	⑱子育て支援課
6	民生・児童委員、主任児童委員の相談体制の強化	市民が民生・児童委員や主任児童委員に相談しやすい関係を持てるよう、資質向上や、地域への積極的な関わりを促進します。	⑳市民が相談しやすい関係をもてるよう、民生委員・児童委員や主任児童委員が小学校や、中学校に出向き、相談体制をつくっている。また、地域では、地区社協事業に積極的に参加しコミュニケーションを図っている。学校や地域に出向き相談業務や地域事業への参加を行った。	○ほぼ計画どおり進捗	⑳関係機関や地域住民と連携・協力して、子どもや子育て家庭への主任児童委員の活動のPR	成果維持	⑱子育て支援課
7	相談担当者の研修の充実	相談内容の多様化・複雑化に対応し、相談者のニーズに応じた的確なアドバイスが提供できるよう、家庭児童相談員、母子自立支援員、社会・家庭教育指導員をはじめとする専門相談員やその他の相談担当者の研修の充実を図り、資質の向上に努めます。	⑰家庭教育支援ネットワーク研修会参加 家庭教育支援研修会参加 家庭教育懇談会参加 ⑳家庭児童相談員、母子自立支援員、児童福祉にかかわる保健師等が県主催の研修へ積極的に参加し、更に担当者間で情報を共有し、資質の向上に努めている。	○ほぼ計画どおり進捗	⑰さらに相談者のニーズに応じた研修が必要 ⑳研修で得られた知識や情報を相談担当者間で共有し、更に資質の向上に努める必要がある。	成果維持	⑰生涯学習課 ⑱子育て支援課

番号	個別施策	取組内容	23年度実績	進捗状況	課題等	今後の方向性	関係課
8	乳幼児と保護者の交流機会の充実	乳幼児とその保護者が、同世代の親子と交流が図れるよう、子育て支援センターの充実や市内の各保育所、幼稚園、学校の地域開放に努めるとともに、市社会福祉協議会などと連携しながら、とみうら元気倶楽部「子育てサロン」、南三原おもちゃと絵本の図書館、地区公民館「井戸端会議」など、各種事業の充実を図ります。	①井戸端会議「ひよこ」市内3箇所4班(富山・三芳・千倉A・B) 全64回 延1,625名 つくしんぼ 10回 延176名 ①8ボランティアによる子育てサロンをとみうら元気倶楽部で開催 ボランティア団体による絵本の読み聞かせや人形劇の開催 ②0子育て支援センターでは、市内の利用者登録数が710人で、延べ利用者数は子ども5,452人、保護者3,815人参加。	○ほぼ計画どおり進捗	①井戸端会議「ひよこ」については、公民館事業は、今年度で終了し、子育て支援事業へ移行する。 ②0スタッフの誰もが、必要に応じて、利用者同士を紹介したり結びつける役割が担えるようにする。	検討	①生涯学習課 ①8社会福祉課 ②0子育て支援課
9	自主グループの育成	親同士の交流、育児不安の軽減の場を親が主体的に作っていくことにより、よりよい親子関係が保たれるよう、活動場所の提供、支援講座の充実などにより、子育て自主グループの育成を図ります。	②0子育て支援センターではにこにこひろばや赤ちゃんデー、保育所では地域交流会を開催し、親子が交流できる機会を意識的に開催。	△計画に遅れが生じている	②0親子の交流は図られているが、自主的とはいえ、今後も育成を図る。	成果維持	②0子育て支援課
10	子ども会活動の活性化(再掲)	子ども会活動の活性化を図り、同年齢・異年齢の子どもとの交流を促進します。	①7ジュニアリーダーを育成するため、ジュニアリーダー初級認定を推奨し、市子連主催研修会と安房子連主催研修会に参加することで初級認定を受けられるようにして、今年度は14名が初級の認定を受ける。	○ほぼ計画どおり進捗	①7前年初の試みだったので、継続したジュニアリーダーの育成が必要。初級のみではなく上の級をめざした取り組みを検討する必要がある。	成果維持	①7生涯学習課
11	多様な地域活動の促進(再掲)	各地区に古くから伝わる伝統的なまつりや各種イベント、ボランティア活動や青少年活動など、子どもたちの積極的な地域活動への参加を促進します。	①7南房総市つどい大会 11月 参加者84名 市内小学4年生～6年生41名・青少年相談員43名	○ほぼ計画どおり進捗	①7参加者の減少、内容の見直し	成果維持	①7生涯学習課
12	乳児のブックスタート事業の推進	乳児のブックスタート事業を推進し、絵本の読み聞かせを通じたよりよい親子関係の構築や、親同士の交流の拡大につなげていきます。	②0股関節検診とタイアップしてブックスタート事業を開催している。ボランティアによる絵本の読み聞かせをしてもらった後に絵本を手渡し、心ふれあうひとときを持つきっかけを作っている。	○ほぼ計画どおり進捗	読み聞かせのボランティアの確保が必要である。	成果維持	②0子育て支援課
13	子育てを支援する人材の育成・確保	子ども会やスポーツ少年団の指導者や、保健推進員、各種ボランティアのリーダーなど、子育て支援活動の人材の育成・確保に努めます。	①7子ども会指導者の育成の一環として、県の集団指導者(初級)の資格を取得。 ①9こんにちは赤ちゃん訪問員に対し、研修などを実施し育成を図っている。	○ほぼ計画どおり進捗	①7子連役員が毎年変わるため資格取得等について継続されにくい。また、先に取った人に続くよう指導者の育成に努めていく必要がある。 ①9推進員が声かけしやすいように、チラシ等を作成し、視覚にも周知する必要がある。	検討	①7生涯学習課 ①9健康支援課 ②0子育て支援課
14	子どもに関わるボランティア等の活性化	市社会福祉協議会などと連携しながら、子どもに関わるボランティア活動等の活性化に努めます。	①8ボランティア団体による絵本の読み聞かせや人形劇の開催 ②0子育て支援センターでの食育活動や、絵本の読みがたり、母親のリフレッシュを目的とした喫茶などにボランティアの協力を得ている。	○ほぼ計画どおり進捗	②市社会福祉協議会と連携し、子どもに関わるボランティア活動の周知を促進する。 ②0利用者とボランティアの交流が積極的に図られるようにしていきたい。	成果維持	②市民協働課 ①7生涯学習課 ①8社会福祉課 ②0子育て支援課
15	会員制の子育て相互支援機能の充実	子育てを支援したい人と子育て支援サービスを受けたい人の相互援助(有償ボランティア)組織である「ファミリーサポートセンター」の設置を図ります。	②0多様な保育サービスに対応するために、ファミリーサポート事業を検討。	☆見直し(計画変更等)	②0近隣の様子など把握し、本市にあった相互援助の形を検討していく必要がある。	検討	②0子育て支援課

番号	個別施策	取組内容	23年度実績	進捗状況	課題等	今後の方向性	関係課
16	母子保健の知識の普及	母子健康手帳の交付や、啓発冊子の配布等により母子保健の知識の普及に努めます。	⑱母子健康手帳交付時、子育て支援センター情報コーナーなどで冊子等配布し知識の普及に努めている。	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑱健康支援課 ⑳子育て支援課
17	健康診査の充実	妊婦・乳幼児健康診査を充実し、疾病などの早期発見・早期治療、子どもの健全育成につなげるとともに、母親の交流拡大による孤立防止を図ります。特に、発達に遅れのある子を的確に把握するための診査・指導体制の強化に努めます。	⑱3～4か月児対象の股関節検診を年6回、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健康診査を各10回実施。疾病の早期発見・早期治療、児の発育発達や育児支援の必要な対象の把握に努め支援。 平成23年度から幼児健診は市内2か所で実施。	○ほぼ計画どおり進捗	⑱未受診者の把握が必要。	成果維持	⑱健康支援課
18	母子保健講座の充実	妊娠期、出産期、乳幼児期のそれぞれの時期に、両親が健康づくりや授乳・食事などについての正しい知識を得て、健康づくりの取り組みを実践できるよう、講座・指導の充実と利用促進を図ります。	⑳育児支援事業として両親学級(親子きずなの教室)離乳食教室(もぐもぐ教室)など妊娠期から幼児期にかけ健康づくりを実践できる講座を開催。	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑳子育て支援課
19	家庭訪問の充実	新生児・産婦訪問、こんには赤ちゃん事業、その他随時訪問により、新生児や健康診査の要指導者、子育て不安のある両親などへの保健師や管理栄養士、こんには赤ちゃん事業訪問員による家庭訪問を実施し、母子の健全育成につながるよう努めます。	⑱生後4か月まで保健師及び管理栄養士による全数訪問を目標にほぼ達成。またこんには赤ちゃん訪問員による訪問も実施。	○ほぼ計画どおり進捗	⑱引き続き個別支援の充実が必要。	成果維持	⑱健康支援課
20	健康相談の充実	専門職員の体制強化や、他の専門機関との連携強化などにより、妊産婦や乳幼児の健康に関する相談の充実に努めます。	⑳おひさまくらは平成22年度で終了したため状況により子育て支援センターの幼児相談、ことばの教室などを紹介。妊産婦や乳幼児の健康に関する相談について随時対応。	○ほぼ計画どおり進捗	⑳子育て支援センターと連携し随時相談に応じる体制をとる。	成果維持	⑱健康支援課 ⑳子育て支援課
21	歯科保健の充実	2歳児歯科健康診査や各種母子保健事業実施時の歯科保健指導の充実に努めます。	⑱幼児健康診査において歯科衛生士による個別相談を実施し、むし歯予防に努めた。	○ほぼ計画どおり進捗	⑱特に3歳児健康診査においてむし歯保有率が高いので、引き続き個別指導の充実を図る。2歳児歯科健康診査事業の廃止に伴い、むし歯予防に関する情報をリーフレット等を活用し周知する必要がある。	縮小	⑱健康支援課
22	予防接種の適切な接種の促進	乳幼児・児童の感染症を予防するため、予防接種の適切な接種を促進します。子どもたちや保護者への予防接種の正しい知識の普及を図り、接種率の向上に努めます。	⑱乳幼児健康診査において、予防接種歴を確認し接種勧奨をするなど接種率の向上に努めた。また、広報誌などで情報提供などを行った。	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑱健康支援課
23	保健衛生の向上	安房健康福祉センター(安房保健所)などとの連携のもと、新型インフルエンザなどの感染症やO-157などの食中毒などに対する衛生対策を推進します。	⑱【食中毒】保健所及び食品衛生協会と連携して食中毒予防パレードを実施。本庁・各支所に食中毒予防のパンフレットを配布。各庁舎玄関に食中毒注意報看板の掲示。防災行政無線で食中毒警報発令を広報。	○ほぼ計画どおり進捗	【食中毒】安房健康福祉センター、食品衛生協会と連携のもと実施。	成果維持	⑱健康支援課
24	不妊医療・周産期医療体制の充実促進	安心して出産できるよう、不妊医療、周産期医療の充実を県等へ要請していきます。	実績なし				⑱健康支援課

番号	個別施策	取組内容	23年度実績	進捗状況	課題等	今後の方向性	関係課
25	小児・産婦人科医療体制の充実促進	身近な地域で安心して小児・産婦人科診療が受けられるよう、小児・産婦人科医療の充実について、国・県など関係機関に要請していきます。	実績なし				⑱健康支援課
26	小児救急医療の充実	子どもが常に迅速・適切に救急医療を受けられるよう、救急医療・搬送体制の充実を関係機関に要請していきます。	⑥救急車の更新なし。 ⑲23年度に建設される安房地域医療センターの救急棟に対し、安房広域として助成を決定。	○ほぼ計画どおり進捗	⑥引き続き、救急搬送体制の充実を関係機関に要望する必要がある。	拡充	⑥消防防災課 ⑲健康支援課 ⑳子育て支援課
27	障害・発達の遅れ等の早期発見・早期療育	乳幼児健診などで、障害・発達の遅れ等の早期発見及び適切な支援を行うため、「きらりんくらぶ」や児童デイサービス等につなげます。	⑱児童デイサービスの提供 ⑳発達の遅れ等により、早期に適切な支援が必要な子どもたちについては、関係機関が連携し、子どもと親が利用できるよう支援している。	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑱社会福祉課 ⑳子育て支援課
28	発達障害に関する支援体制の強化	発達の遅れのある子とその保護者に対して、包括的な支援を行うため、子育て支援センターを拠点に、療育・発達支援に関する専門機能の強化を図ります。	⑱子育て支援課と連携し、相談支援の実施 ⑳小集団の場として、保育士と保健師が従事し、週1回「きらりんくらぶ」を開催。定期的に特別支援学校の地域支援担当者に来てもらっている。	○ほぼ計画どおり進捗	⑳対象児童が増えた場合、支援体制のあり方を見直していく。	成果維持	⑱社会福祉課 ⑳子育て支援課
29	特別支援教育の充実	各保育所・幼稚園・小中学校で障害のある児童・生徒や発達に遅れのある児童・生徒を受け入れ、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育的支援が行えるよう、受け入れ意識の高揚、教育内容・技術の研修、補助員など人員の充実、施設の充実などに努めます。	⑭特別支援教育支援員の配置(幼小中) 専門家チームによる巡回相談(保幼小中へ) ⑱関係課・関係機関との連携。 ⑳各関係機関が連携し、障害のある子どもや児童・生徒が入所、就園、就学または進級の際、適切な保育及び教育が受けられるよう日頃から連携を図っている。	○ほぼ計画どおり進捗	⑭支援員の確保 巡回相談員の確保 ⑳母子保健、子育て支援にかかわる保健師、保育士が保育所、幼稚園、学校等を訪問し連携を図っているが、まだ支援体制は十分ではない。	成果維持	⑭教育総務課 ⑱社会福祉課 ⑳子育て支援課
30	在宅生活の支援の強化	障害のある子や保護者の在宅生活を支援する福祉サービスの充実と活用促進に努めます。また、制度に関するわかりやすい情報提供に努めます。さらに、障害のある子を持つ親同士の親睦を図るサポートをしていきます。市社会福祉協議会では、在宅生活を支援していくため、どのようなサービスが必要か検討していきます。	⑱児童デイサービス・日中一時支援事業・日常生活用具給付事業の活用促進のため、子育てハンドブックや障害福祉制度のご案内のパンフレットにより周知。市社会福祉協議会では、在宅生活を支援していくための具体的な市民からの要望はなし。	○ほぼ計画どおり進捗	⑱市社会福祉協議会では在宅生活を支援していくため、引き続きどのようなサービスが必要か検討していく。	成果維持	⑱社会福祉課 ⑳子育て支援課
31	ひとり親家庭相談の充実	ひとり親家庭が抱えている様々な悩み事を軽減するため、母子自立支援員や民生・児童委員などと連携し、きめ細かい相談の実施に努めます。	⑳母子自立支援員が週2日の勤務となっているが、相談があった場合には、その都度対応するようにしている。また、電話による相談だけでなく直接面接の場を設けて対応している。	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑳子育て支援課
32	経済的支援の強化	ひとり親家庭への助成制度や負担軽減制度の利用を促進します。さらに、父子家庭に対する制度を含め、国・県に対して、制度の一層の充実を要望していきます。	⑳父子家庭についても児童扶養手当の支給実施	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑳子育て支援課
33	自立支援と就労の充実	ひとり親家庭の自立支援・就労促進を図るため、母子家庭自立支援教育訓練給付金事業の活用を促進するとともに、充実を検討していきます。	⑳母子自立支援員が主となり、母子家庭の職業訓練に関わる面接相談をしている。	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑳子育て支援課

番号	個別施策	取組内容	23年度実績	進捗状況	課題等	今後の方向性	関係課
34	親の心の健康づくりの促進	子育ての悩みに関する親同士の相談や交流などの場を積極的に提供するとともに、利用を促進し、虐待の未然防止につなげます。	⑳育児、子育てが孤立化しないよう子育て支援センターの事業を積極的に紹介し、利用を促進している。また、集団へ馴染めない家庭については専門職による家庭訪問等個別対応で支援し、将来的には親同士が交流できるような働きかけをしている。	○ほぼ計画どおり進捗	⑳子育て支援センターの事業に参加するだけでなく、親同士が自ら交流できるような働きかけが必要。		⑳子育て支援課
35	見守りネットワークの充実	南房総市要保護児童対策地域協議会を適宜開催し、君津児童相談所をはじめ、福祉、保健、教育の各機関・施設、民生・児童委員などと連携しながら、児童虐待防止と適切な対応に努めます。	⑭南房総市要保護児童対策地域協議会の実施 ⑳要保護児童対策地域協議会の運営要綱に基づき、関係機関と連携し、予防、早期発見、迅速且つ適切な対応をしている。	○ほぼ計画どおり進捗	⑭教育機関等への周知 ⑳迅速且つ適切な支援ができるよう関係機関が連携を図り、体制を充実させていく必要がある。	成果維持	⑭教育総務課 ⑳子育て支援課
36	虐待通告義務の周知	虐待発見者の通告義務について、保育所、幼稚園、学校等を含め、広く市民に周知し、虐待の早期発見に努めます。	⑭括弧関係に対し虐待発見の通告義務に関わる文書通知 市の広報誌を通して市民への周知 ⑳児童虐待通告義務の必要性について、幼稚園、学校訪問等の際、周知している。	○ほぼ計画どおり進捗	⑭保育所、幼稚園、学校等へ制度の一層の周知 ⑳各関係機関の会議等を活用し、児童虐待の予防、早期発見、通告について周知していく。	拡充	⑭教育総務課 ⑳子育て支援課
37	児童の適正な保護の促進	要保護児童を早期に発見し、警察や君津児童相談所と連携した一時保護、乳児院・児童養護施設等への入所、里親による保護など適切な対応に努めます。	⑳保護を必要とするケースについては、児童相談所へ送致し、適切な対応をしている。	○ほぼ計画どおり進捗	⑳児童相談所へ送致する必要があるかどうか、十分に協議し、決定する。	成果維持	⑳子育て支援課
38	児童養護に関する理解の促進	児童養護施設や里親制度の周知に努めるとともに、市民に対して、里親ファミリーホーム設置への協力を呼びかけていきます。	⑳里親制度の周知については、子育て支援課窓口で情報提供、また住民から問い合わせがあった際、里親制度の担当機関である児童相談所の周知をしている。	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑳子育て支援課
39	配偶者暴力の防止と被害者対策の推進	配偶者による暴力の防止・被害者対策については、警察や千葉県女性サポートセンターなど関係機関と連携しながら、相談や緊急時における安全の確保、被害者の自立支援などに努めます。身体的暴力だけでなく、精神的暴力や子どもに与える影響(子どもの心を著しく傷つける場合は児童虐待にあたる)など、多様な面での配慮に努めます。	②県からの広報用ポスターやチラシを庁舎内に掲示し啓発に努めた。県のDV被害調査を実施し、報告。県の担当者会議等に参加し、地域の状況を確認し情報を共有した。 ⑳配偶者による暴力がある家庭に子どもがいる場合は、身体的だけでなく、心理的な児童虐待につながることもあるため、関係機関と連携し、支援できるよう連携を図っている。	○ほぼ計画どおり進捗	②関係各課との連携を密にし、適切な対応ができるよう把握する。 ⑳配偶者による暴力については、関係機関と連携し、支援機関の周知等行っていく必要がある。	成果維持	②市民協働課 ⑳子育て支援課
40	保育料の負担の軽減	保育料の負担の軽減に努めます。	⑳国の保育料算定基準の8割としている。	○ほぼ計画どおり進捗	今後も国の動向をみて検討していく。	成果維持	⑳子育て支援課
41	各種制度の継続実施と周知の促進	既存の各種経済的支援制度の現行水準での継続実施またはそれ以上の水準での実施に努めるとともに、制度利用を促進するため、広報やパンフレットなどを活用し、周知に努めます。	⑭要保護及び準要保護児童生徒援助費支給制度の継続実施 ⑱子育てハンドブックや障害福祉制度のご案内のパンフレットにより周知 市広報誌・市ホームページにより周知	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑭教育総務課 ⑱社会福祉課 ⑳子育て支援課
42	効果的な経済的支援の企画・立案・実行	国・県の新たな政策動向をふまえて、市民ニーズに沿った市独自の経済的支援策について、適宜、企画・立案・実行していきます。	①ふるさと納税によりブックスタート事業及びぜんそく等小児指定疾患医療費助成事業に363千円充当した。	◎計画を超えて進捗	①より多くの市外者にふるさと納税制度を周知していきたい。	拡充	①企画政策課 ⑤財政課 ⑳子育て支援課

番号	個別施策	取組内容	23年度実績	進捗状況	課題等	今後の方向性	関係課
43	低年齢児保育の充実	産休明けや育児休業明けの年度途中入所を含め、低年齢児の保育所での受け入れ希望に対し、着実に対応していきます。	実績なし				⑳子育て支援課
44	長時間保育・延長保育・休日保育の充実	保護者のニーズに応じ、長時間保育・延長保育や休日保育の充実に努めます。	実績なし	☆見直し(計画変更等)	⑳休日保育を1保育所で実施してきたが、平成23年度は利用者がいなかった。今後は保護者の保育ニーズを十分に把握しながら、サービスの必要性や内容を検討していく。	検討	⑳子育て支援課
45	病児・病後児保育の充実	勝山クリニックと館山ファミリークリニックに委託し、病児・病後児保育を実施します。また、保護者のニーズに応じて他機関での実施についても検討し充実を図ります。	⑳2箇所まで延べ802人の利用。	○ほぼ計画どおり進捗	⑳2機関については、継続しながら、保護者のニーズを把握していく。	成果維持	⑳子育て支援課
46	夜間保育の検討	夜間保育(22時頃まで)の実施について将来的な検討を進めます。	⑳将来的に検討	○ほぼ計画どおり進捗	⑳保護者のニーズを確認し他の事業を含め検討。	検討	⑳子育て支援課
47	一時預かりの充実	保護者などが一時的・緊急的に保育できなくなった場合に未就園児童を預かる制度である一時預かり制度の充実に努めます。また、ショートステイ(宿泊型の一時的預かり)、夜間帯(22時頃まで)の一時的預かり(トワイライトステイ)の実施について将来的な検討を進めます。	⑳一時預かりは延べ半日35、1日130人の利用。保育所の入所児童数や行事により受け入れに制限がある。ショートステイなどについては今後検討していく。	○ほぼ計画どおり進捗	⑳一時預かり事業については今後も充実できるよう努めるとともに、ショートステイ、トワイライトステイなどについては、保護者のニーズを再確認し、他の事業も含め検討していく。	検討	⑳子育て支援課
48	きめ細かい保育の推進	新しい保育所保育指針に基づき、一人ひとりの発達状況や個性に応じた保育を推進します。多様な遊びの体験など、子どもにとって楽しい保育の場を提供するとともに、地域住民との交流など、開かれた保育所づくりを促進します。	⑳各保育所において、それぞれの保育目標を持って、保護者が安心して預けられる保育施設を心がけました。また、地域との交流として園庭開放も行った。	○ほぼ計画どおり進捗	⑳市民のニーズを取り入れていける様にする。	成果維持	⑳子育て支援課
49	保育士の資質の向上	保育士の資質の向上を図るため、各種研修の充実や幼稚園との交流機会の拡大などに努めます。	⑳子どもの発達支援に携わる保育所や幼稚園などの職員を対象に、「発達障害児と保護者の支援」としてほだき心理相談所副所長による講演を実施した。	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑭教育総務課 ⑳子育て支援課
50	地区ごとの就学前保育・教育施設のあり方の検討	地区ごとの少子化の動向をみながら、また、幼保の連携や統合なども検討しながら、認可保育所・幼稚園のあり方を検討していきます。	⑮関係部局での検討会議開催 3回 先進地視察 1回 ⑳教育委員会と連携し、幼稚園・保育所の今後の在り方について再編計画書作成の為検討した。	○ほぼ計画どおり進捗	⑭⑮⑳私立保育園を含めた幼保一体化の検討 ⑳再編計画書を作成していく。	検討	⑮学校再編推進課 ⑳子育て支援課
51	保育環境の維持・充実	保育所の施設・設備を計画的に改修することにより、保育環境の維持・充実を図ります。	⑳児童の安全確保が第一に考え、施設の修繕・設備改修をした。	○ほぼ計画どおり進捗	⑳保育所が老朽化していく中、修繕費の予算確保が厳しい。	検討	⑳子育て支援課
52	認可外保育施設の充実促進	事業所内保育施設などの認可外保育施設については、保育内容の充実のための助言や指導に努めます。	⑳市内には、3箇所の認可外保育施設がある。	○ほぼ計画どおり進捗	⑳今後も市として、指導・助言をしていく。	成果維持	⑳子育て支援課
53	住民参加型の保育サービスの育成	多様なニーズに応えるための保育資源として、「家庭的保育」(保育ママ)やファミリーサポートセンターなど、住民参加型在宅福祉サービスなどの育成に努めます。	実績なし				⑳子育て支援課

番号	個別施策	取組内容	23年度実績	進捗状況	課題等	今後の方向性	関係課
54	学童保育の充実	4年生以上の児童を受け入れるなど、ニーズに応じたサービス内容の充実に努めます。	⑳内容検討	△計画に遅れが生じている	㉑幼保一体化に合わせ、預かり保育と学童保育を明確に区分した上で、4年生以上児童の受け入れ検討。	検討	㉑子育て支援課
55	預かり保育の充実	千倉地区において、引き続き預かり保育事業を実施していくとともに、他地区での実施を検討していきます。	⑭千倉地区以外の地区での実施に向け、協議検討し、平成24年4月から富山、富浦、三芳地区において新たに実施することとした。	○ほぼ計画どおり進捗	⑭全地区で実施するために、私立保育園、民営学童クラブとの継続協議が必要である。	開始	⑭教育総務課
56	放課後子ども教室の実施の検討	放課後子ども教室の実施を検討していきます。	⑰びわっ子スクール 18回 延1,135名 みちくさハウス(子供陶芸教室) 15回 延194名	○ほぼ計画どおり進捗	⑰引き続き継続する。	検討	⑰生涯学習課
57	一般事業主行動計画の策定促進	市内事業所の一般事業主行動計画の策定を促進していきます。	⑫内容検討	○ほぼ計画どおり進捗	⑫事業所により社員数の規模など様々であり啓発方法をどのようにするべきか課題がある。	検討	⑫商工観光課
58	育児休業制度の普及・定着	広報など様々な媒体を活用して、育児休業制度の普及・定着を図ります。「パパ・ママ育休プラス」など、最新の動向の周知に努めます。	⑫内容検討	○ほぼ計画どおり進捗	⑫周知方法について検討する必要がある。	開始	⑫商工観光課
59	労働条件改善の促進	「働き方の見直し」により「仕事と生活の調和」を実現できるよう、有給休暇の取得や、フレックスタイム制度などの導入、働く女性の母性の保護、健康管理の徹底などについて、事業所等への啓発を図ります。	⑫内容検討	○ほぼ計画どおり進捗	⑫事業所により社員数の規模など様々であり啓発方法をどのようにするべきか課題がある。	検討	⑫商工観光課
60	女性の再雇用についての事業所への啓発	出産や育児等により退職した女性の再雇用についての事業所への啓発に努めます。	⑫内容検討	○ほぼ計画どおり進捗	⑫事業所により社員数の規模など様々であり啓発方法をどのようにするべきか課題がある。	開始	⑫商工観光課
61	事業所での子育てを応援する気運の醸成	市内事業所が、法定基準を上回る福利厚生の取り組みなどを行うことを「ファミリー・フレンドリー企業表彰」「社員いきいき！元気な会社宣言企業」などで国・県とともに支援していきます。	⑫内容検討	○ほぼ計画どおり進捗	⑫国、県との連携方法について検討をする必要がある。	検討	⑫商工観光課 ㉑子育て支援課
62	若者定住のための雇用の場等の育成・確保	少子化対策には、若者定住が不可欠であることから、地域資源を生かした企業誘致や起業への支援など、雇用の場の育成・確保に市をあげて取り組みます。	①定期的に市HPにハローワークの求人情報を掲載した。 ②平成21年に制定した「南房総市企業誘致及び雇用促進に関する条例」の改正を行い制度の拡充を行った。 「南房総市中小企業新事業及び雇用創出支援事業」を実施して、雇用創出のための支援を行った。	○ほぼ計画どおり進捗	①継続的な周知のほか、定住に向けた取り組みを行う必要がある。 ②企業誘致や起業家を支援するために更なるインセンティブを検討する必要がある。	拡充	①企画政策課 ⑫商工観光課
63	女性の再就職への支援の強化	出産や育児等により退職した女性が再就職しやすいよう、ハローワークなどでの相談や情報提供の充実に促進するとともに、再就職支援セミナーの受講支援などにより、再就職や起業などにむけた知識・技術等の習得機会の拡大を図ります。	⑫毎月1日、15日に更新される館山ハローワークの求人情報を市役所の窓口に置き、また市のHPに掲載して情報提供を行った。 千葉県求職者総合支援センターの協力を得て、「子育て中の女性向け再就職支援セミナー」を実施して再就職支援を行った。	○ほぼ計画どおり進捗	⑫求職者に対してニーズ調査等を行う必要がある。	拡充	⑫商工観光課 ㉑子育て支援課
64	経済的自立が可能な仕組みづくりの促進	国・県・経済団体等とともに、雇用の安定に努めるとともに、非正規就労者と正規就労者の賃金格差やキャリアアップ機会の格差などを是正する仕組みづくりを促進します。	⑫国の千葉労働局、ハローワーク館山、県の雇用労働課、産業人材課等と情報交換を行った。	○ほぼ計画どおり進捗	⑫市単独では限界があるので、引き続き国、県等と連携をしながら促進していく必要がある。	成果維持	⑫商工観光課

番号	個別施策	取組内容	23年度実績	進捗状況	課題等	今後の方向性	関係課
65	特定事業主行動計画の推進	男性の育児休業の取得など、南房総市特定事業主行動計画の適切な推進を図ります。	④男性の育児休業の取得など、南房総市特定事業主行動計画の適切な推進を図った。平成23年度で前期計画期間が満了したため、前期の計画の見直しを行い平成24年度に向けて後期計画の策定に取り組んだ。育休条例の改正等も行われ育児休業を取得しやすい環境を整えてきたが、男性の育児休業取得者はいなかった。	◆計画完了(事業完了)	④育児休業を取得しやすい職場環境の形成を推進しているが、男性の育児休業取得率が0%のままであることが課題となっている。	開始	④総務課
66	母子保健事業での食育の推進	もぐもぐ教室(離乳食教室)をはじめ、各乳幼児健診・健康教育を通じて、乳幼児期の食育を推進します。	⑳子育て支援センターにて年間18回離乳食教室を実施し、必要な情報を提供し育児を支援した。また、各種健診等を通じて食育の推進に努めた。	○ほぼ計画どおり進捗	㉑教室や乳幼児健診の未受診者の把握およびアプローチ	成果維持	⑲健康支援課 ⑳子育て支援課
67	保育・教育の場における食育の推進	保健推進員等の協力を得ながら、地元食材の活用や、「生産者と保護者を交えた交流給食会」、「家族ふれあい料理教室」、「生活習慣病予防事業」などを通じて、保育所、幼稚園、小中学校での食育を推進します。	⑩水産業に関する職種を体験し、水産業に関する知識を深め、次世代の担い手を育成する。 市内中学校生対象水産教室 6日 市内小学校生対象水産教室 2日 ⑪南房総食材を使った料理コンテストを開催。 ⑭学校給食における地元食材の活用 ⑲「家族ふれあい料理教室」、「生活習慣病予防事業」の実施。 家族ふれあい料理教室14回 参加者数482名 生活習慣病予防事業12回 参加者数309名 ⑳保育所給食の試食会の実施し食育の推進に努めた。	○ほぼ計画どおり進捗	⑩周知及び募集方法。 ⑪参加者の確保及び周知方法の検討。 ⑭地元食材の流通確保 生産者の啓発 学校等での指導の充実 ⑲各小中学校、一律に食育事業が展開できるように学校と連携を図る。 ⑳保育所、幼稚園、小中学校との連携	拡充	⑩農林水産課 ⑪地域資源再生課 ⑭教育総務課 ⑲健康支援課 ⑳子育て支援課
68	学校での健康診断の推進	就学時健診や定期健診の推進を図ります。	⑭幼稚園及び小中学校での健康診断実施 就学時健診の実施	○ほぼ計画どおり進捗	⑭就学時健診時の医師の確保が困難	成果維持	⑭教育総務課
69	小児生活習慣病予防の推進	保健推進員・食育推進委員の協力を得ながら、「小児生活習慣病予防教室」などを通じて、小児生活習慣病予防の知識伝達、調理実習や講義を行い、児童・生徒と保護者に対し、小児生活習慣病予防を啓発します。	⑭小児生活習慣病予防検査の実施(小5、中2) 検査結果をもとに各学校にて事後指導の実施 ⑲家族ふれあい料理教室14回 参加者数482名 生活習慣病予防事業12回 参加者数309名 保育所食育教室1回 参加者数60名 食育推進事業8回 参加者数351名 ⑳養護教諭と連携し、保健師、管理栄養士が児童・生徒だけでなく、保護者に対し、小児生活習慣病の予防等について講義形式で周知した。	○ほぼ計画どおり進捗	⑲小学生については、食生活が親に依存されているため、保護者参加強化が必須である。学校と連携を図り実施していく。 ⑳児童・生徒の生活習慣、検査結果等を成人の健康づくりにつなげられるよう分析する必要がある。	成果維持	⑭教育総務課 ⑲健康支援課 ⑳子育て支援課

番号	個別施策	取組内容	23年度実績	進捗状況	課題等	今後の方向性	関係課
70	相談体制の強化	スクールカウンセラーの充実や、安房保健所思春期相談の利用促進などにより、思春期の児童・生徒の悩み等に対する相談体制の強化を図ります。	⑭各中学校へのスクールカウンセラー配置(小学校の活用も可能) ⑯中学校スクールカウンセラーが小学校に向き、支援ができる体制が整い、不登校等だけでなく、児童虐待の早期発見にもつながっている。	○ほぼ計画どおり進捗	⑭勤務日の拡充 小学校での活用促進 ⑯スクールカウンセラーのマンパワー不足。	拡充	⑭教育総務課 ⑯健康支援課 ⑯子育て支援課
71	就学前教育の充実	新たな「幼稚園教育要領」、その上位に位置する法・計画に基づき、基本的な生活習慣の獲得に最も力を注ぎながら、幼稚園等での個性あふれる教育を推進します。	⑭各幼稚園にて実施	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑭教育総務課
72	幼稚園教諭の資質の向上	幼稚園教諭の資質の向上を図るため、各種研修の充実や保育所との交流機会の拡大などに努めます。	⑭教職員夏季研修会の開催 ⑯幼稚園・保育所職員の人事交流を行った。	○ほぼ計画どおり進捗	⑭日常的研修の場を設定	拡充	⑭教育総務課 ⑯子育て支援課
73	施設・設備の整備	充実した就学前教育を提供するために、幼稚園等の施設・設備の整備・充実に努めます。	⑭ ・プール施設改修工事(三芳幼稚園) ・三芳幼稚園屋外施設改修工事 ・白浜幼稚園改修工事 ・トイレ改修工事(朝夷幼稚園) ・維持管理修繕一式(全園)	○ほぼ計画どおり進捗	⑭経年変化による施設の老朽化を考慮し効率の良い施設管理に努める。	成果維持	⑭教育総務課
74	地域に開いた施設づくりの促進	幼児教育の専門技術を生かし、地域の保護者の子育てに関する相談に応じるとともに、親の育児不安の軽減や、乳幼児の生活習慣の獲得にむけた交流の場の提供など、地域に開かれた施設づくりを促進します。	実績なし				⑭教育総務課
75	幼小中学校の再編の推進	「南房総市立幼稚園及び小中学校再編計画」に基づき、市内小中学校の再編を進めます。	⑮富山地区の幼稚園・小学校再編完了 千倉・丸山・和田地区の再編推進に着手	○ほぼ計画どおり進捗	⑮地域理解の推進 幼保一体化との関連性の整理 中学校再編との関連性の整理	拡充	⑭教育総務課 ⑮学校再編推進課
76	基礎学力の定着	指導内容や指導方法の工夫改善に努めながら、基礎的・基本的な学力の定着を図ります。	⑭土曜スクールの展開3カ所 百字で伝える私の想い事業開催	○ほぼ計画どおり進捗	⑭さらなる工夫 (土曜スクール拡充、夏期講座の展開、小中連携学力向上等)	拡充	⑭教育総務課
77	情報教育の推進	パソコンなど情報機器を操作する基礎能力を育成するとともに、あふれる情報を整理し、十分に活用できる人材の育成に努めます。	⑭情報セキュリティマニュアルの作成	△計画に遅れが生じている	⑭平成23年度市の施策であるICT支援員による教職員支援の実施	拡充	⑭教育総務課
78	国際理解教育の推進	世界を視野に入れ、国際貢献できる人材の育成をめざして、ALT(アシスタント・ランゲージ・ティーチャー)の活用や、小学校への英語活動支援員の配置、外国の学校との交流、地域の在住外国人との交流などにより、国際理解教育を推進します。	①国際交流員(CIR)の設置 ⑭各中学校へALT配置(7人) ALTの小学校派遣 小学校英語活動指導者の配置(全小学校)	○ほぼ計画どおり進捗	①生涯学習における国際教育の充実と在住外国人との交流促進 ⑭小学校英語活動の充実	成果維持	①企画政策課 ⑭教育総務課
79	人権教育・道徳教育の推進	他人の痛みを理解し、人権を尊重する心を持った児童の育成をめざして、人権教育・道徳教育を推進します。	⑰社会人権教育研修会等の参加 図書館で人権に関する図書の設置	○ほぼ計画どおり進捗	⑭研究指定校の成果を市内各校に拡充 ⑰引き続き継続。	拡充	⑭教育総務課 ⑰生涯学習課
80	教員の資質の向上	教員の資質の向上を図るため、各種研修の充実に努めます。	⑭夏季教職員研修、生徒指導主任、特別支援学級担任、就学指導担当、英語担当者等各種研修会の実施 教師塾の開催(3回)、若手教師塾の開催(1回)	○ほぼ計画どおり進捗	⑭研修会の質的向上 教師塾の啓発	拡充	⑭教育総務課

番号	個別施策	取組内容	23年度実績	進捗状況	課題等	今後の方向性	関係課
81	開かれた学校づくりの推進	社会人講師制度や、地域の人とのふれあう機会を積極的に取り入れるなど、開かれた学校づくりに努めます。保護者・住民が学校運営に参画し、地域ぐるみで子どもの教育にあたることができるよう、「学校評議員会」等の意見を採り入れ充実を図ります。	⑭総合的な学習の時間におけるキャリア教育等で地域の社会人を呼んでの講演会を実施 各小中学校に学校評議員を3～5名委嘱	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑭教育総務課
82	安全な学校づくりの推進	安全な学校づくりのために、防犯設備等の充実を図るとともに、警察、PTA、ボランティアなどの協力を得ながら、通学時などの安全確保に努めます。	⑭学校警察連絡協議会を設置し、防犯対策を検討するとともに祭礼の際、パトロールを実施 登校時の交通安全指導及び放課後の見回りを学校とPTAが連携して実施。	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑭教育総務課
83	クラブ活動の推進	子どもたち一人ひとりが多様な技能を伸ばし、生涯を通じて楽しめる趣味を得られるよう、地域住民の協力を得ながら、学校クラブ活動を引き続き推進します。	⑭小学校において、学校の教育課程にクラブ活動の時間を位置づけ、年間10回程度実施。	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑭教育総務課 ⑰生涯学習課
84	教育施設・設備の充実と有効活用	耐震改修など、老朽化した施設等の整備や、教育機器の整備・充実に努めるとともに、余剰教室の積極的な活用を図ります。	⑭ ・忽戸小学校改修工事 ・忽戸幼稚園解体工事 ・忽戸幼稚園園庭整備工事	○ほぼ計画どおり進捗	⑭公共施設の再編や市の施策を視野に入れた施設の耐震化を進める。	検討	⑭教育総務課
85	グラウンド、体育館などの開放による交流の促進	グラウンド、体育館などを開放し、地域の人々と子どもたちとの交流を促進します。	⑰社会体育施設、学校施設の運動場や体育館等を開放し、イベントを通じての交流に努めた。また県民の日は、千倉総合運動公園、富浦テニスコート、三芳テニスコートの無料開放を行った。	○ほぼ計画どおり進捗		成果維持	⑭教育総務課 ⑰生涯学習課
86	体験教育・体験保育の積極的な導入	各保育・教育施設では、社会体験などの学習機会の積極的な導入に努めます。	⑭地元の事業所の協力で各小中学校における職場体験学習を実施。 ⑳保育所において、教育実習や小中学校の体験学習等子育て教育実践の場として、積極的に受け入れた。	○ほぼ計画どおり進捗	㉑保育所の調理部門体験には、制限をしている。	成果維持	⑭教育総務課 ⑳子育て支援課
87	環境学習活動の促進	自然との関わりを学ぶ研修や自然と親しむ活動を通じて、環境への理解を深め、環境を守ろうとする心と態度の育成に努めます。	⑦ ・小、中学校向け環境学習会 4校実施(小学校2、中学校2)、参加人数267名 ・環境ポスター及び環境標語の募集と入賞作品の展示 ポスター546点、環境標語624点の応募 ・エコライフカレンダー2012年版の作成 5,000部を小、中学生及び市民へ配布 ⑭南房総学として第1次産業学習や自然体験学習を実施	○ほぼ計画どおり進捗	⑦環境学習会への参加校が減少しているため、開催時期・内容を検討する。 ⑭地域の施設や人材を活用しての学習の充実	成果維持	⑦環境保全課 ⑭教育総務課
88	福祉体験活動の促進	社会福祉協議会やボランティア団体、福祉施設などの協力を得ながら、お互いに助け合うことの大切さを学ぶ福祉体験機会の充実を図ります。	⑭社会福祉協議会と連携し、福祉体験講座を丸小、長尾小で、ふれあい交流事業として幼稚園児や小学生と高齢者との交流会を実施	○ほぼ計画どおり進捗	⑭各幼稚園や小中学校への情報提供	拡充	⑭教育総務課

番号	個別施策	取組内容	23年度実績	進捗状況	課題等	今後の方向性	関係課
89	生活体験活動の促進	家庭での手伝いや、就業体験、青少年キャンプなど、年齢に応じた生活体験活動の促進を図ります。	⑰各地区青少年相談員においてサマーキャンプを実施	○ほぼ計画どおり進捗	⑰参加者の減少、内容の見直し	成果維持	⑭教育総務課 ⑰生涯学習課
90	社会教育活動への子どもの参加の促進	地区公民館等での子どもや親子を対象とした体験講座・イベントの充実を図ります。	⑰ 釣教室 4回 81名 土曜学校(郷土・自然学習) 12回 延268名 子ども映画会 2回 283名 子ども餅つき大会1回 56名 天体観測 2回 53名 ビーズ教室 4回 延74名 ゴム銃作り 2回 24名 わんぱく塾 2回 23名 子どもチャレンジ教室 20回 延220名 子ども和楽器教室 5回 延127名 カブトムシ・クワガタ採取 3回21名 親子館外学習 2回44名 親子地引網体験 1回13名 親子虫観察会 1回38名 まが玉づくり 1回24名 お琴教室 1回12名	○ほぼ計画どおり進捗	⑰引続き継続 今は子どもたちも忙しく、多くの参加者を集めるための検討が必要。	成果維持	⑰生涯学習課
91	読書活動の推進	子どもたちの読書の重要性を認識し、小学校入学時の第2ブックスタート事業の推進、図書館・学校図書室の充実、ボランティアの協力による「おはなし会」「絵本読み聞かせ会」の開催、移動図書館事業の推進などにより、子どもたちの読書活動を推進します。	⑭小学校入学時に1人あたり2冊の本を寄贈 小学校14校、中学校5校に学校図書サポート員を延べ35名配置 ⑰小学校低学年までを対象に、絵本の読み聞かせを実施 三芳公民館 10回 156名 丸山公民館 12回 151名 和田公民館 12回 268名 の参加	○ほぼ計画どおり進捗	⑰引続き継続 参加者の拡大	成果維持	⑭教育総務課 ⑰生涯学習課 ⑳子育て支援課
92	多様な文化・芸術活動の促進	学校のクラブ活動や課外活動、各地区の社会教育活動などを通じ取り組まれてきた子どもたちの文化・芸術活動を引き続き促進していきます。	⑭南房総市オペラ鑑賞会の実施(年1回) 地域祭礼への児童生徒の参加 ⑰人形劇フェスティバル 11回 延1,380人 生涯学習芸術鑑賞会(狂言鑑賞教室) 市内中学2年生 229名	○ほぼ計画どおり進捗	⑰好評なため継続事業とする。	成果維持	⑭教育総務課 ⑰生涯学習課
93	スポーツ少年団活動の活性化	スポーツを通じて豊かな心と健康でたくましい体を育むことを目的として、スポーツ少年団の活動を促進します。そのために、指導者の養成と資質の向上を図ります。	⑰32団体に活動費助成を行った。また、指導者養成については県事業等研修会情報を提供し参加を呼びかけた。	○ほぼ計画どおり進捗	⑰引続き継続	成果維持	⑰生涯学習課
94	競技スポーツの振興	子どもが参加できる競技スポーツの拡大や、プロスポーツの試合、合宿等の誘致を通じて、子どもたちがスポーツにあこがれを持ち、意欲的に取り組む機会の充実に努めます。	⑰ゆめ半島千葉国体軟式野球競技と自転車競技が南房総市を会場に行われ、また、スポーツ強豪校等の合宿を迎え入れ、高い技術によるスポーツ観戦により、スポーツへの関心と参加の機運を高められたと思われる。	○ほぼ計画どおり進捗	⑰誘致受入れには、スポーツ施設が不足しており、更なる施設整備・拡充が必要(駐車場含む)	拡充	⑰生涯学習課
95	子ども・親子連れを対象としたスポーツ教室の充実	スポーツ教室の充実と多様化を図り、スポーツ体験の幅を広げます。	⑰体育指導委員による軽スポーツ大会を開催。またスポーツクラブドルフィンによる室内雪合戦、ハイキング、ボウリング等を開催子供、親子でできる軽スポーツの普及を図った。	○ほぼ計画どおり進捗	⑰多くの参加者を集めるための計画の検討を行う必要がある。	成果維持	⑰生涯学習課

番号	個別施策	取組内容	23年度実績	進捗状況	課題等	今後の方向性	関係課
96	総合型地域スポーツクラブの育成	子どもから高齢者まで多様な年代の市民が、初心者から上級者まで、いろいろなメニューを選んでともに楽しめる自主的なスポーツクラブである「総合型地域スポーツクラブ」の育成を図るとともに、新たなクラブの設立を促進します。	①総合型千倉スポーツクラブドルフィンに対し事務補助を含め活動支援を行った。	○ほぼ計画どおり進捗	①新たな組織作りには至っていない。	拡充	①生涯学習課
97	男性への啓発活動の推進	各種広報や家庭教育学級、公民館講座などを通じ、男性の育児・家事への参画を啓発するとともに、育児や家事の具体的な方法について、男性が学習することを促進します。	②広報やポスターを掲示して啓発に努めた。 ①家庭教育学級 30学級 延5, 523人 おやじクッキング12回/月1回	○ほぼ計画どおり進捗	②意識の改善につながるよう広報活動を継続する。 ①引き続き継続する。	成果維持	②市民協働課 ⑭教育総務課 ⑰生涯学習課 ⑳子育て支援課
98	企業等への啓発活動の推進	男性が育児・家事に参加しやすい雇用環境づくりを市内企業等へ積極的に啓発します。	②広報やポスターを掲示して啓発に努めた。 ⑫内容検討	○ほぼ計画どおり進捗	②意識の改善につながるよう広報活動を継続する。 ⑫事業所により社員数の規模など様々であり啓発方法等をどのようにするべきか課題がある。	成果維持	②市民協働課 ⑫商工観光課
99	男女共同参画意識の普及促進	セミナーやフォーラムなど、多様な機会を通じて、男女共同参画の考え方の普及を図ります。	②広報やポスターを掲示して啓発に努めた。 男女共同参画推進計画の策定と広報での周知に努めた。	○ほぼ計画どおり進捗	②意識の改善につながるよう広報活動を継続する。	成果維持	②市民協働課
100	男女平等教育の推進	学校、幼稚園、保育所などすべての保育・教育施設で、男女平等教育を推進するとともに、子どもの時から男女が共同して家事・育児等を行うことの大切さを啓発します。	②広報やポスターを掲示して啓発に努めた。	○ほぼ計画どおり進捗	②関係各課との連携を密にし、適切な対応ができるよう把握する。	成果維持	②市民協働課 ⑭学校教育課 ⑳子育て支援課
101	女性の健康づくり事業の推進	更年期障害をはじめ、女性特有の健康問題に市民が適切に対応していけるよう、医師・栄養士等による講話や食事・運動指導などを行う女性の健康づくり事業を推進します。	⑯医師・健康運動指導士・管理栄養士・保健推進員による講話、実技及び調理実習計6回 参加者数延83名	○ほぼ計画どおり進捗	⑯保健推進員養成講座とタイアップし実施。	成果維持	⑯健康支援課
102	政策決定への女性の参画の促進	組織の政策決定に、家庭や子どもについての視点が豊かな女性の意見を積極的に反映するまちづくりを進めます。	②各種審議会、委員会への女性委員の登用を呼びかけた。	△計画に遅れが生じている	②女性からの意見を反映できるように努める。	検討	②市民協働課
103	若者のまちづくり活動での協働の促進	若者のまちづくりへの積極的な参画を促進します。深刻な晩婚化の状況の改善にも寄与するよう、独身男女の交流にもつながる活動をめざします。	②南房総未来塾や地域づくり協議会、ファッションリテーター研修などで若者の積極的なまちづくりへの参画を促進した。	○ほぼ計画どおり進捗	②継続的に若者の積極的なまちづくりへの参画を促進していく。	成果維持	②市民協働課
104	子育て支援設備の整備	親子連れでも安心して利用できるよう、歩道の整備を計画的に進めるとともに、公共公益建物等において、ベビーカーで利用できるスロープ、エレベーター等の整備や、トイレ内へのベビーチェア・ベビーベッド等の設置を促進します。また、講座やイベント等に利用される公共建物には託児・授乳・おむつかえスペースの整備を推進します。	⑤H23年度での実績なし。 ⑨道路改良工事により、区画線表示により歩行スペースを確保する。	○ほぼ計画どおり進捗	⑤本庁・支所の管理をする上で後期行動計画を再確認し現在の整備状況を把握する。 施設再編で取壊し予定の建物を除き、必要に応じてベビーチェアなどの施設設置を検討する。 ⑨歩道スペースのための用地が確保できるか。	検討	⑤財政課 ⑨建設課 ⑯教育総務課
105	公共交通機関の充実	子どもの通学や親子連れでの外出などの交通手段として、コミュニティバスの利便性の向上に努めます。また、鉄道や高速バス・路線バスの維持・確保・充実を引き続き要望していきます。	①「地域公共交通活性化協議会」による快速バスやデマンド型乗合タクシーを運行。	○ほぼ計画どおり進捗	①路線バスの利用者の維持	成果維持	①企画政策課

番号	個別施策	取組内容	23年度実績	進捗状況	課題等	今後の方向性	関係課
106	良質な住宅の取得の促進	住宅取得奨励事業を推進し、若者世代・子育て世代が市内で良質な住宅を取得することを促進します。	⑧交付決定済み額:48,600,000円(104人) 認定済み額:38,600,000円(78人)	○ほぼ計画どおり進捗	⑧市外者や若年者の住宅取得が多く見られたが、市内業者の受注機会の拡大については今後検討し、工夫していく必要がある。	検討	⑧管理課
107	子育てバリアフリー点検の実施促進	子どもにやさしいまちづくりの啓発にむけて、ボランティアによる子育てバリアフリー点検や子育てマップの作成を促進します。	実績なし		②子育て支援課ともっと連携していく。	検討	②市民協働課 ⑩子育て支援課
108	子どもに配慮した防災対策の推進	保育所・幼稚園・学校などでの防災訓練、防災教育を充実するとともに、避難・救助・情報提供など各分野で子どもに配慮した防災対策に努めます。	⑥8月28日に和田中学校で行われた県による防災教育公開授業と連携し、市と合同で防災(津波避難)訓練を実施した。 ⑭地震時の避難場所の見直し。 平成23年度地域との連携を深める防災教育公開事業(和田中)	○ほぼ計画どおり進捗	⑥各施設等の防災訓練や防災教育については、地域性を考慮し充実を図る必要があります。 ⑭幼稚園・学校における第一次避難場所及び第二次避難場所の確認と一覧表の作成 全幼稚園・小中学校での引き渡し訓練の実施	成果維持	⑥消防防災課 ⑭教育総務課 ⑩子育て支援課
109	地域で子どもを見守る防犯体制の強化	子どもの犯罪被害防止にむけ、自主防犯団体の育成や、防犯灯の充実、「社会を明るくする運動」の推進、スクールガードボランティアの養成など、地域で子どもを見守る防犯体制の強化を図ります。	⑥防犯灯の新設 69基 ⑭防犯パトロールボランティア19名を委嘱し、登下校の安全指導等を実施 ⑯毎年7月に「社会を明るくする運動」を展開している。運動の中で、市内の中学校を保護司と更生保護女性会が啓発物資を持参し訪問、子どもの犯罪防止を呼びかけている。	○ほぼ計画どおり進捗	⑥防犯灯の新設については、通学路等子供への犯罪被害防止に向けて実施していく等地域のニーズを把握する必要がある。 ⑭各学校におけるスクールガードボランティアの充実	成果維持	⑥消防防災課 ⑭教育総務課 ⑱社会福祉課
110	交通安全対策の充実	子どもの交通事故防止にむけ、交通安全教育の推進に努めるとともに、カーブミラー、ガードレールなど、各種交通安全施設等の整備・拡充を図ります。	⑥交通安全の集い 1回(南小学校) ⑨維持工事により、区要望箇所について実施する。 ⑭小中学校において交通安全教室の実施。 児童から高齢者への交通安全レター作戦実施(南三原小)	○ほぼ計画どおり進捗	⑥保護者等のニーズを把握する必要がある。 ⑨要望箇所が増大した時の予算対応。	成果維持	⑥消防防災課 ⑨建設課 ⑭教育総務課 ⑩子育て支援課
111	公園・広場等の充実	公園や広場などの整備と適切な維持管理に努めます。また、遊び場として校庭や園庭の活用を図ります。	⑩地元で維持管理 ⑫植栽管理、清掃 老朽化施設の改修撤去	○ほぼ計画どおり進捗	⑩遊具の老朽化・更新 ⑫施設を維持管理していくためには、多額の経費がかかる。	検討	⑩農林水産課 ⑫商工観光課 ⑩子育て支援課
112	自然環境の保全・活用	海岸や野山が子どもたちのかけがえのない遊び場となるよう、自然保護意識の普及・啓発を行い、良好な自然環境の保全に努めます。	⑦自然環境の保全に関する啓発として、外来生物に対する注意情報を小・中学校に提供した。	△計画に遅れが生じている	⑦自然環境に関しては、商工観光課や農林水産課でも取り組みをしているため、連携が必要となる。	検討	⑦環境保全課
113	屋外スポーツ施設の整備・充実	グラウンド、テニスコートなど、各屋外スポーツ施設の整備・充実を図ります。	⑰富浦テニスコート修繕工事 和田コミュニティ運動広場改修工事	◎計画を超えて進捗	⑰スポーツを通じた集客には更なる整備・拡充が必要	成果維持	⑰生涯学習課
114	地域での屋内遊びの場の拡充	子ども同士や親子連れで気軽に来て遊べる屋内遊びの場の拡充を図ります。遊休施設を活用した児童館的な施設の設置を検討していきます。	実績なし				⑩子育て支援課
115	屋内スポーツ施設の整備・充実	体育館、武道館など、屋内スポーツ施設の整備・充実に努めます。	⑰フットサルネット設置工事	○ほぼ計画どおり進捗	⑰スポーツを通じた集客には更なる整備・拡充が必要	成果維持	⑱教育総務課 ⑰生涯学習課